



ドクターヘリ

長田 忠広

**問** 今秋から宮城県でもドクターヘリが運航されることになった。ドクターヘリの運航に当たり、特にランデブーポイント（救急隊とドクターヘリが合流する緊急離着陸場）が非常に重要である。

宮城県では、このランデブーポイントを県内400カ所程度を確保する目標としている。

そこで、岩沼市のランデブーポイントは何カ所予定しているか伺う。

**消防長** 現在、6カ所を候補地としております。内訳は、①岩沼市陸上競技場、②阿武隈川左岸の河川敷公園、③グリーンピア岩沼の第3駐車場、④ハナトピア岩沼の駐車場、⑤鍛冶公園、⑥県立支援学校岩沼高等学園の校庭になります。

**広報活動の充実必要では**

**問** ランデブーポイントを市民に丁寧に説明するべきだと思っておりますが、いかがでしょうか。

**消防長** 運航が10月末と聞いていますので、その前に県政だよりでお知らせをする話を聞いています。

それを確認しながら広報「いわぬま」やホームページなどで市民に周知していきたいと思っております。

**問** 広報紙の他に（ランデブーポイント候補地の）地元町内会に回覧などで周知が必要と思っておりますが、いかがでしょうか。

**消防長** （ドクターヘリを）呼ぶときには消防隊が広報します。また、砂塵や騒音の注意の喚起をします。（地元町内会には）それに対応していきたいと思っておりますが、今後、そのようなお話があれば、検討していきたいと思っております。

**問** ランデブーポイントの周知とともにドクターヘリへの認識を深めるため、候補地に看板を設置してはどうでしょうか。

**消防長** 必要に応じて事業主、宮城県とランデブーポイントの所有しているところと検討しながら考えていきたいと思っております。

**◎その他の一般質問**

- ・ 上水道事業
- ・ 熱中症対策



道徳教育の教科化

布田 一民

**問** 平成30年度には、小学校と特別支援学校の小学校の部、31年度からは、中学校と中等教育学校の前期課程、特別支援学校の中学校で「特別の教科道徳」の検定教科書を用いた授業が順次実施される。教育行政の方針として、望まれる道徳教育の推進に向けて必要なのは何か伺う。

**教育長** 学習指導要領の趣旨を押さえて、各教員に徹底しながら進めていきます。

**道徳授業を保護者に公開**

**問** 教育長には、重点目標を持つこと。また、実践的な課題を解決しながら教えていくことの提案をした。道徳教育に当たっては、家庭・地域社会との相互の連携を図り、道徳授業を積極的に公開するほか、保護者参加型の授業の実践、地域教材の開発・活用など協力を得るなど、相互の連携を図ることが、望まれる道徳教育の推進に向けて必要であると考えますが、いかがでしょうか。

**市長** 道徳本質の問題と捉えています。人格あるいは生き方に関する大事な部分は、特に環境の変化や家庭環境、経済的な環境、そのことが大きく影響します。それに対応するために何が必要かを考えているところであります。

**問** 教科化に向けた評価の在り方について、小学校の3段階と中学校での5段階の通知表の成績をどのように付けるのか伺う。

**教育長** 文部科学省からは、記述式で子どもの状況を知らせる指針が出されています。保護者に説明し、実施してまいります。

**問** 本来、道徳とは、家庭と地域の大人が協力し合って行う仕事ではないかと思っております。しかし、価値観が多様化する中で、個性・感性を大事にすることも重要である。教員が研究し、子どもたちの価値観を理解しながら、正しい評価の方向性を見出すために、しっかりと準備するべきではないか伺う。

**市長** 今後はどう評価をしていくのか、推移を見ていきたいと思っております。